

16. 次の薬剤のうち、副作用として精神症状を呈する可能性があるのはどれか。正しいものを一つ選んで下さい。

- 1) 副腎皮質ホルモン (ステロイド)
- 2) インターフェロン
- 3) 降圧薬
- 4) 抗ヒスタミン薬
- 5) 上記の薬剤は全て起こりうる

17. 精神疾患患者の興奮と暴力について正しいものを2つ選んで下さい。

- 1) 興奮状態の背景には被害妄想からくる脅えのある場合が多い。
- 2) 引きこもりと親への暴力があった患者は、入院後に興奮し暴力的となりやすい。
- 3) 興奮状態の激しい患者は、刺激しないようにそっとしておくのがよい。
- 4) 緊張病性の興奮は、説得によっておさまることが多い。
- 5) 躁病性興奮は、行動制限によって怒りを誘発されることがある。

18. 看護師が患者から受ける暴力への対処について、誤っているものを2つ選んで下さい。

- 1) 患者に対する病状の評価が大切であり、それに関しては医師が的確に行い、最終的な判断も医師が行う。
- 2) 暴力の誘因には、活動が制限されがちな閉鎖環境、スタッフの人員的・技術的な不足など、環境因子によるものがある。
- 3) 患者だけでなくスタッフの安全も優先されなければならないため、隔離や身体拘束によって早急に対処しなければならない。
- 4) 患者への治療・援助内容は全て暴力の予防に関連していることから、スタッフへの専門的教育、事後の当該スタッフへの支援など、組織的な取り組みが責務である。

19. 精神科医療における多職種チームアプローチについて、誤っているものを2つ選んで下さい。

- 1) 適切なリーダーシップの機能のため、各職種の権限を尊重することが大切である。
- 2) チーム内では、役割の明確化と公平な分業により、効率的な活動を行うのが望ましい。
- 3) 患者に適切な援助を提供するためには、定期的なミーティングは欠かせない。
- 4) 患者への援助に関する決定権についての担当者は特定せず、メンバーが統一された対応ができることが望ましい。

20. 芸術療法やボディワークについて、人間の自由や創造性と、精神の健康や病理との関連という視点から論じて下さい。

---

21. 国際生活機能分類(ICF)の考え方を参考にしながら、精神科リハビリテーションの現状からみて、精神医療福祉の従事者は、どのような点を特に重視すべきかについて述べて下さい。

---

22. 看護学の視点から、精神医学的な知識や考え方を精神科看護の実践に生かす上で、留意すべき点について述べて下さい。